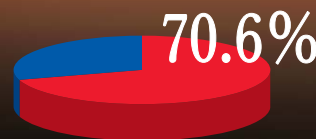




統合セキュリティ アプライアンス市場 機能、スピード、安心で、選ばれて市場No.1シェア

■ フォーティネット
■ その他

2004年度シェア
富士キメラ総研調べ
統合アプライアンス製品
金額ベース



UTMセキュリティ製品グローバル市場においても2年連続1位
(*IDC社2005年9月発表)

理由 1.

一台で6つの主要な
ゲートウェイセキュリティ機能を実現

- ファイアウォール、VPN、アンチウイルス、アンチスパム、Webコンテンツフィルタリング、侵入検知・防御 (IPS)

理由 2.

新しい脅威への優れた対応スピード

パターンファイルの更新の早さの比較

右のグラフは、日本国内において代表的なアンチウイルスベンダー4社が2005年8月に発表されたMS05-039の脆弱性を利用する6種類のウイルスに対して、パターンファイルを更新した時間を調査し、更新した時間が早かったベンダー順にグラフ化したものです。

理由 3.

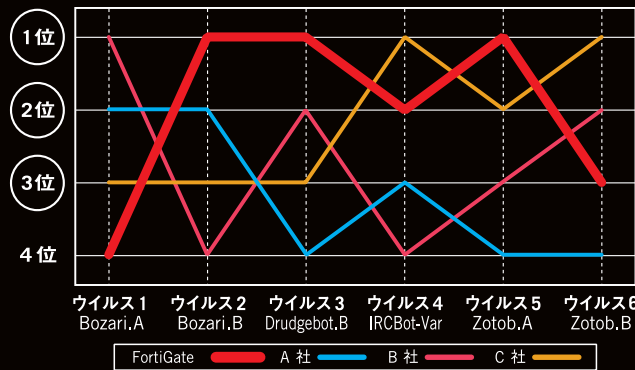
クライアントライセンス無制限

理由 4.

ASICによる高速処理

理由 5.

SOHOからプロバイダまで対応する
豊富なラインナップ



ヒューリスティックにウイルスを検出できたのはFortiGateだけ

右の表は、6種類のウイルスに対して、ヒューリスティックにウイルスを検出できたかどうかを表したものです。

FortiGateのみが、全てのウイルスをヒューリスティックに検出することができました。つまり、パターンファイルの更新前にウイルスを、疑わしいファイルとして発見できたのです。

	ウイルス1 Bozari.A	ウイルス2 Bozari.B	ウイルス3 Drudgebot.B	ウイルス4 IRCBot-Var	ウイルス5 Zotob.A	ウイルス6 Zotob.B
FortiGate	○	○	○	○	○	○
A社					○	○
B社						
C社						

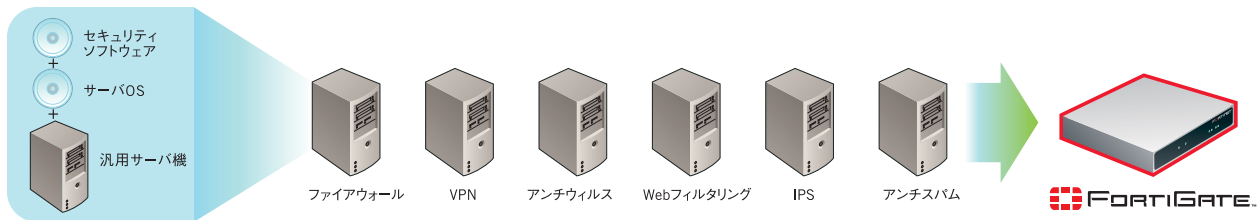
ドイツの第三者機関「AV-Test.org」による調査データを元に作成。(調査月:2005年8月)

複雑化した被害を防ぐためにはファイアウォール+アンチウイルスだけでは不十分

最近の傾向としてたんなるいたずら目的のウイルスだけでなく、P2Pソフトによる情報漏えい、ボットネットによる遠隔操作、詐欺目的であるフィッシング、社員の外部掲示板の利用など企業にとって深刻な新しい脅威が現実のものになっています。ですが残念ながらほとんどの企業が未だにファイアウォールとアンチウイルスのみの対策となっています。これでは新しい脅威から企業を十分守ることが出来ません。複雑化した脅威から企業を守る為に、これからはさらに高度なセキュリティ機能が必要です。「FortiGateシリーズ」は企業のインターネットゲートウェイに必要な6つのセキュリティ機能（ファイアウォール、VPN、アンチウイルス、Webコンテンツフィルタリング、IPS、アンチスパム）を一台で実現します。

統合型アプライアンスで初期費用、運用コストともに低減可能

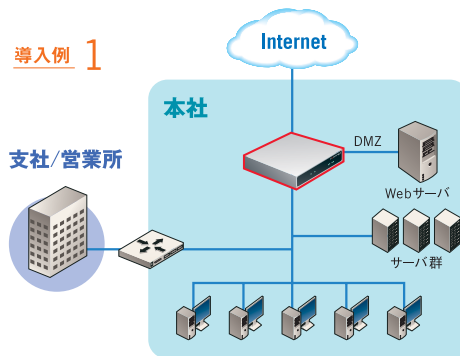
単体のセキュリティソフトやアプライアンスはそれぞれ高額である事が多く、アンチスパム、Webコンテンツフィルタリング、侵入検知・防御（IPS）などなかなか導入に踏み切れない場合が多いのも事実です。「FortiGateシリーズ」なら、機器の追加の必要がなく、サブスクリプションの購入のみで必要なセキュリティ機能を追加できるため初期費用を抑えることが可能です。また一台でセキュリティ機能を実現させる事により、管理コストも下がります。運用の手間、保守費用、年間ライセンス料などを劇的に下げることが可能です。



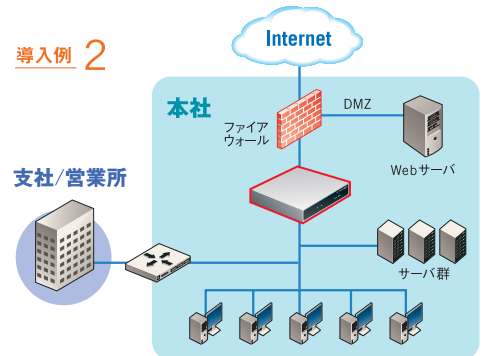
シンプルに導入が可能

新規で導入する場合は図1のような設置が一般的です。インターネットゲートウェイに必要な6つのセキュリティ機能を一台で実現します。既に他社のファイアウォール、VPNゲートウェイを導入していても、トランスペアレントモードを利用して、既存のシステムを変更することなく導入することができます。(図2)

導入例 1

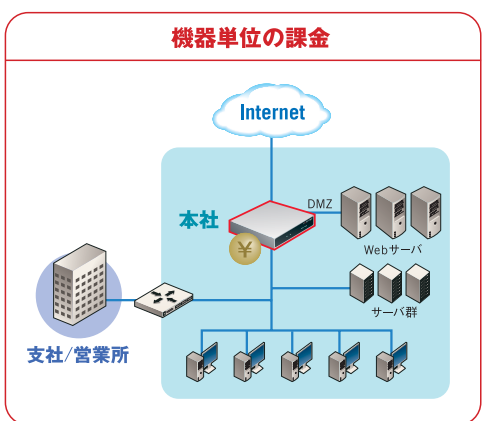
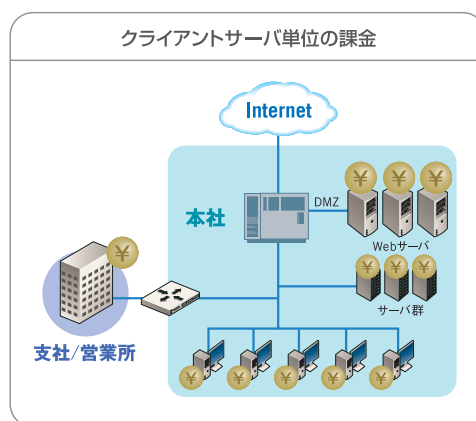


導入例 2



クライアント無制限ライセンスを採用

他社製品のほとんどが、ユーザーごとにライセンス料金を支払う料金体系をとっています。しかし、この場合、機器の導入コストに加え、ライセンスコストがかかる上に、ライセンス管理の手間とコストがかかります。「FortiGateシリーズ」では、ユーザー単位ではなく、アプライアンス単位の料金体系を採用しています。「FortiGateシリーズ」なら、イニシャルコスト、ランニングコストの双方を共に抑えて導入できます。



FORTINET™

フォーティネットジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-10 国際溜池ビル6F

TEL. 03-5549-1640 E-mail : info_jp@fortinet.com

www.fortinet.co.jp

※ 記載された社名、各製品名は各社の登録商標または商標です。
 ※ 記載された内容は、変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ